

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名 真田地域自治センター

【令和5年度重点目標】

重点目標 「菅平高原」ブランドを生かした魅力発信		
具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
① 菅平地区観光施設の安全性と快適性、長寿命化に向けた改修整備 (1) 安全性・快適性の向上を目指したサニアパーク菅平の施設整備 (2) 菅平高原国際リゾートセンターの長寿命化に向けた改修整備 ② 「スポーツ合宿の聖地 菅平高原」の魅力アップに向けた施策の推進 (1) サニアパーク菅平、菅平高原アリーナにおけるネーミングライツの実施 (2) 菅平高原観光施設の指定管理検討 ③ 菅平高原アリーナの利用促進 (1) 利用促進イベントの開催 (2) ホームページ等を活用したPR (3) 利用団体数、使用料収入の対コロナ禍以前比増 ④ 菅平高原自然館の今後の方針策定 (1) 今後の方向性の協議 (2) 展示品・所蔵品の利活用の検討	① (1) 第3種陸上競技場 公認検定合格(12月まで) (2) (2)屋根全面改修による雨漏り等の解消(年度内) ② (1) ネーミングライツパートナー募集(年度内) (2) 関係団体等との協議(年度内) ③ (1) 開催数：1回(年度内) (2) 利用促進のための情報発信(通年) (3) 利用団体500団体・使用料収入5,000千円(年度内) ④ (1) 関係団体等との協議(年度内) (2) 展示品・所蔵品の整理(年度内)	① (1) 7/7に入札を実施し、7/18に施工業者と契約を締結。9/19から施設整備工事に着手 (2) 7/7に入札を実施し、7/18に施工業者と契約を締結。8/17から改修工事に着手 ② (1) 7/20にネーミングライツ・パートナー募集を開始し、関係団体へのDMや商工会議者等への営業活動を実施 (2) 指定管理の在り方について内部協議、関係者の意見聴取 ③ (1) トレーニングキャンプ支援交流委員会と連携し、9/10にラグビーワールドカップパブリックビューイングを開催 (2) 施設の予約情報のタイムリーな更新、特にキャンセルのあった時間帯の迅速な情報発信により利用促進を図った。 (3) 利用団体467団体・使用料収入3,283,760円(9月末現在) ④ (1) 今後の在り方について内部協議するとともに、来館者へのアンケートを実施 (2) 閉館期間中の整理に向けて、作業シート等を準備
重点目標 市民が主役 「心豊かな 協働のまちづくり」の推進		
具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
① 地域づくり委員会との協働によるまちづくり (1) まちづくりに活用できる情報の提供 (2) 地域課題の把握と関係課との情報共有 ② 地域全体で作る安心・安全情報ネットワーク (1) 地域全体で作る安心・安全情報ネットワーク ・地域内情報ネットワーク構築の事例紹介 ・自治会長専用SNSの活用 ・自治会内情報伝達網の構築支援 (2) 地域のデジタル化の推進 ・地域のデジタル化推進の広報・支援活動 ・一人暮らしの高齢者等への情報伝達の検討 ・公民館スマホ講習事業との連携 ・デジタル活用による自治会長業務の軽減化 ③ 住民自治組織「真田の郷まちづくり推進会議」への支援 (1) 地域住民への活動周知 (2) 地域づくり委員会から把握した課題等の共有	① (1) 地域づくり委員会での情報提供(8月まで) (2) 関係課等へ課題の情報提供と対応依頼(年度内) ② (1) ・センターだより、会議等で紹介(3回) ・年12回以上配信 ・補助事業1件、相談随時 (2) ・センターだより、会議等で発信(3回) ・住民・関係課等との意見交換(2回) ・申請様式の全データ化 ③ (1) センターだより、会報「さなぎ」配布 (2) 地域課題の情報共有	① (1) 全36自治会が地域づくり委員会を開催(7月～8月) 各課の取組、補助制度等の支援策を情報提供(8月に自治会回覧：36自治会、回覧数492) (2) 委員会でもまとめられた地域課題や要望等は、庁内各課に対応依頼及び情報共有(8月) ② (1) ・センターだより(5月)、地域協議会(6月)での紹介 ・電子広報、SNSを活用した連絡と回答及び災害注意情報等の配信(15回) ・補助事業支援(下横道)、自治会出張相談4か所(大日向、大庭、荒井、中原) (2) ・センターだより(5月)、地域協議会(6月)、地域づくり委員会(7月)での紹介 ・危機管理防災課との打合せ(4月)、民生児童委員協議会への提案(7月) ・公民館職員と携会社との打合せ(5月) ・申請様式データを電子申請化(4回) ③ (1) 自治センターだより(7月号、9月号)、自治会回覧による独自事業への参加の告知協力 (2) 委員会でもまとめられた地域課題や要望等の資料提供(11月予定)
重点目標 地域に寄り添った窓口対応の充実		
具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
① 窓口対応等の充実 (1) 来庁者の用件を速やかに聞き取り、的確・迅速・円滑な事務処理を行うとともに、来庁者に寄り添って親切・丁寧で親しみの持てる対応を心掛け、苦情・苦言のない窓口を目指す。 (2) 業務に必要な各種研修へ積極的に参加し、知識の習得に努める。併せて接客マナーや接遇などの教育や意識啓発に努め、窓口を担うにふさわしい人材を育成する。(接客態度、言葉遣い等) (3) 職員同士が声を掛け合うなど、窓口で対応している職員を支援し、課が一体となって窓口サービスを展開する。	① (1) 苦情や要望等を課内で情報共有し確認する(随時) (2) 研修 年8回程度(年度内) (3) 混雑時に声かけ等の迅速な対応(随時)	① (1) 毎月スローガンを設定し、係ごとにとり組状況や課題等を話し合った。また毎月の課長係長会議でそれを持ち寄り改善案を検討、成果も含めて課内全員にフィードバックし、窓口対応の充実を図っている。 (2) 戸籍研修(4回)、国民年金研修(1回)、虐待防止研修等(8回)、介護保険サービス研修(1回)、地域健康支援専門研修(16回)に参加し、各業務の遂行に必要な知識の習得に努めた。 接客マナーや接遇の向上のため、ヘビークレーム対応能力向上研修等(6回)に参加した。 (1) 担当を越え声を掛け合い、職員同士で支援を行い課職員が一丸となって接客、窓口サービスを展開するなど、迅速な対応に努めている。
重点目標 真田地域の社会福祉拠点となる施設整備の推進		
具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
① 真田地域の社会福祉拠点となる施設整備に向けた取組 (1) 老朽化した真田総合福祉センターと真田老人福祉センターを統合する施設整備の検討 (2) 周辺の公共施設(真田体育館)との調整 (3) 災害時の広域的避難所や防災対策拠点としての活用の検討 (4) 地域協議会、住民自治組織等との協議	① (1) 関係部局との協議(3回)年度内 (2) 整備計画や利用状況等の把握、関係課との調整(2回)年度内 (3) 関係部局との協議(2回)年度内 (4) 関係団体等との協議(2回)	① (1) 地域振興課と市民サービス課との協議(7月)、また社会福祉基金の活用について福祉部・各地域自治センター市民サービス課等で協議(8月) (2) 周辺の施設所管課との協議(8月 真田教育事務所) (3) 福祉・高齢者の拠点としての機能や、広域的避難所や防災対策拠点としての活用を協議(9月 市民サービス課、真田教育事務所) (4) 利用状況等を資料として地域協議会の現地視察、また同会からの意見聴取(7月)